

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第83回）議事概要

1 日時 平成23年11月25日(金) 15時30分～16時00分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

坂内 正夫（分科会長）、徳田 英幸（分科会長代理）、相澤 彰子、
相田 仁、青木 節子、荒川 薫、伊東 晋、近藤 則子、鈴木 陽一、
野間 省伸、広崎 膨太郎、前田 香織

（以上12名）

(2) 専門委員（敬称略）

安藤 真、三木 哲也

（以上2名）

(3) 総務省

（情報通信国際戦略局）

久保田総括審議官、岡野技術政策課長

（総合通信基盤局）

桜井総合通信基盤局長、鈴木電波部長、安藤基盤局総務課長、
田原移動通信課長、巻口衛星移動通信課長、菅田衛星移動通信課企画官

(4) 事務局

藤江情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長

4 議 題

(1) 答申事項

「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「移動体検知センサー及び動物検知通報システムの技術的条件」【平成14年9月30日付け 諮問第2009号】

審議の結果、本件について一部答申を行った。

【内容】

本件は、本年3月の電波法改正により、免許が不要な小電力無線システムの空中線電力の上限を10ミリワットから1ワットとする見直しが行われたことから、平成13年に制度化された「移動体検知センサー」及び平成20年に制度化された「動物検知通報システム」の利用拡大につながる技術的条件について審議を行ったもの。

(2) 報告事項

「航空無線通信の技術的諸問題」のうち「VHF 帯航空無線電話の無線設備に関する技術的条件」【昭和 60 年 4 月 23 日付け 電気通信技術審議会諮問 第 10 号】

航空・海上無線通信委員会より報告があった。

【内容】

本件は、117.975MHz～137MHz 帯を使用する VHF 帯航空無線電話について、周波数の更なる有効利用に向け、チャンネル割当てが 25kHz 間隔のシステムに加え、「8.33kHz」間隔にナロー化したシステムも使用可能となるよう、航空無線電話システムの技術的条件について検討を開始するもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 安藤、吉原

電話 03-5253-5957 FAX 03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。